

村山談話を継承し

2016年を日中(中日)友好年とする訪問団へご参加を呼びかけます

【呼びかけ】

昨年7月、2015年の日本の終戦70周年を節目に、改めて『戦後50年の終戦記念日にあたって』とする村山内閣総理大臣談話に依拠し、将来の日中友好関係促進を目指すものとして『2015年を日中(中日)友好年とする訪問団』が実施されました。

この取り組みは、IFCC 国際友好文化センター(会長:又市征治・参議院議員)が1992年から20年にわたり友好団体とともに「侵略を記憶し語り継ぐ平和の旅」を行い、侵略の戦跡・史跡の調査と生存者の証言を聴取しそれを日本で語り継ぐ活動をしてきた経緯の上に企画発起されました。

2015年の訪問団は南京大虐殺惨案跡、三光作戦跡の河北・北坦村での生存者証言聴取、冉莊地道戦遺跡、盧溝橋事件跡などを視察し、北京で中華全国青年連合会及び中国社会科学院の方々と意見交換してきました。

昨年の安保法制強行採決をみる時、第1回目の取り組みに当たってこの取り組みが一過性ではなく継続されるよう関係者で相談してきた意味が大きくなってきています。

今年も「2016年を日中(中日)友好年とする」ための訪問団を企画しました。

ご賛同と参加を呼び掛けます。

【企画・主催】

IFCC 国際友好文化センター

【共催】

社会民主党全国連合

【期日】

2016年11月3日(木)～8日(火) 6日間

【内容】

- ① 侵略の遺跡、史跡見学(731細菌部隊、柳条湖事件跡、平頂山事件跡、盧溝橋事件跡など)
- ② 惨案の生存者証言聴取(※生存者が限られていますので不確定要素があります)
- ③ 日中友好交流(中華全国青年連合会及び中国社会科学院など)

【参加費】

192,000円(予価)、海外諸税別途要(後日、正式案内。)

※1人部屋利用28,000円追加

【申込締切】

- 一次集約:2016年8月2日(火)
- 最終集約:2016年9月2日(金)

※お申し込みは、参加伺い書を、旅行社アイエフシーまでお送り下さい。折り返し、詳細書類をお送り致します。

【募集人数】

規模20人(最小催行人数10人)

【申込・問合先】

受託手配:Tropic-Tour アイエフシー(東京都知事登録第3-3757号)
〒162-0801 東京都新宿区山吹町333 辻ビル405
Tel:03-3268-6014 FAX:03-3268-6079 Email:ifc@trio.plala.or.jp

※下記「参加伺い書」をFAX:03-3268-6079か郵送でお送りください。



2016年を日中(中日)友好年とする訪問団 参加伺い書									
ふりがな				生年月日	有効パスポートの有無		有・無		
氏名	男 女	19	年	月	日	失効日		年	月
						パスポート番号			
パスポートのロマ字表記									
連絡先	住所	〒 -							
	自宅・職場	TEL:()	-	FAX:()	-	携帯:	-	-	
所属 (団体又は職業)	名称			部署・役職					